

研究機関：広島大学

研究課題名	NAFLD/NASH に対する高尿酸血症治療の影響に関する研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科 医療イノベーション共同研究講座 教授 茶山 一彰
研究期間	2021年6月25日(倫理委員会承認後) ~ 2025年3月31日
対象者	1969年1月から2021年5月までの間、広島大学病院 消化器・代謝内科を受診され、フェブキソスタットもしくはアロプリノールを投与された高尿酸血症合併 NAFLD 患者さん。
意義・目的	現在、非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) や非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) に対する薬物治療は確立されておりません。NAFLD と高尿酸血症には関連があることは報告されていますが、高尿酸血症治療薬であるキサンチンオキシダーゼ阻害薬 (フェブキソスタットもしくはアロプリノール) が肝臓にどのような影響をあたえるのかは明らかになっていません。 今回、高尿酸血症合併 NAFLD の患者さんを対象にキサンチンオキシダーゼ阻害薬の有効性が明らかにするためにこの研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録 (カルテ) 情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は性別、年齢、身長、体重 Plt, PT(%), Alb, T.bil, D.Bil, AST, ALT, ALP, γ -GTP, LDH, Cre, BUN, eGFR, CRP, FBS, HbA1c, UA, M2BPGi, フェリチン、US 所見、肝硬度です。(個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)
共同研究機関	株式会社スタージェン 広島大学病院の診療データを株式会社スタージェン (研究責任者 加来淳一) が解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医系科学研究科 医療イノベーション共同研究講座 教授 茶山 一彰
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5191 広島大学病院 消化器・代謝内科 職名 診療准教授 中原 隆志